

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 人間と社会

教科： 総合的な探究の時間 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）
（7組： ） （8組： ）

使用教科書：（「人間と社会」改訂版教科書、株式会社Inspire Highの映像コンテンツ教材 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】自分自身の内面について深く掘り下げ、進路について幅広い知識を得る

【思考力、判断力、表現力等】自分自身の気持ちや経験について他者に伝わる表現方法を身につける

【学びに向かう力、人間性等】主体的に自己の気持ちや経験を文章等に表現する。主体的に進路に関する知識を得ようとする

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分自身の内面について深く掘り下げ、進路について幅広い知識を得る	自分自身の気持ちや経験について他者に伝わる表現方法を身につける。伝え方や発表スライド作成について考え、大学入試に向けて準備する	積極的に自己の気持ちや経験を文章等に表現する。主体的に進路に関する知識を得ようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Inspire Highに慣れる。自分について考え、自己の特徴を言語化する。	①オリエンテーションセッション「Welcome to Inspire High！」 ②渡辺直美と考える 「自分らしさをどう見つける？」 ③モテクリエイターゆうこすと考える「自分をどう発信する？」	株式会社Inspire Highの教材の使用方法および1年間の全体の流れを紹介する。自分と向き合うことについて考える	○	○	○	8
	自分の大切なものについて考え他者に伝える	①タイのドラッグクイーンと考える 「人と違うってこわいこと？」 ②ダンボールアーティスト島津冬樹と考える 「無駄なものってある？」 ③クリエイティブディレクター辻愛沙子と考える 「好き」をどう仕事にする？」	自分の今後の将来を見据え、自分自身の人生の軸となることを考える	○	○	○	4
	様々な方法で表現する	①映画監督 枝優花と考える 「物語はどこから生まれる？」 ②資生堂アートディレクターと考える 「自分の感性をどう見つける？」 ③詩人谷川俊太郎と考える 「言葉ってなんだろう？」 ④アーティスト松下徹と考える 「アートってどんなもの？」 ⑤フードエッセイスト 平野紗季子と考える 「言葉でどう伝える？」 ⑥フラワークリエイター篠崎恵美と考える 「想いをどう伝える？」	表現の仕方を学ぶとともに、多様な価値観・多様な生き方があることを理解し、他社を尊重し、思いやりの心を育てる	○	○	○	4
2 学 期	クラスメイトについて知る (他者比較)	①『ハッシュタグ自己紹介』の準備 Ex.) 1人1分スピーチの原稿作り ②『ハッシュタグ自己紹介』 Ex.) 発表、クラスメイトへのフィードバック	1学期および夏休みの過ごし方を振り返り、自分自身についてもう一度振り返る。発表を通して、伝え方を学ぶとともに、発表スライド作成のコツについて学ぶ	○	○	○	8
	興味関心を深める	①ゲームUXディレクターと考える 「楽しい体験をどうつくる？」 ②アーティスト松下徹と考える 「アートってどんなもの？」 ③ロボット開発者と考える 「テクノロジーは人を幸せにする？」 ④テレビディレクター上出遼平と考える 「メディアとどう付き合う？」 ⑤アフリカの金融スペシャリストと考える 「お金とどう付き合う？」	自分の将来の進路について考える。興味関心のあるテーマについて深掘りする。	○	○	○	4
	①働く意味や仕事のやりがい様々な職業を知る ②将来を描くために憧れの存在を思い出す	①働く大人と考える 「自分の生き方をどう見つける？」 ②宇宙飛行士 山崎直子と考える 「未来の自分は becoming ？」	働くことについて考える。ここでは自分の考えている将来の進路についても深掘りすることとする。	○	○	○	4

3 学 期	自分だけの問いをどう見つけるか？	タレント 田村淳と考える「学ぶって大事なこと？」	自分の調べたい問いについて考える。またここでは興味関心のあるテーマを2～3つ取り上げ、自分の今後の進路と合わせて考えることとする	○	○	○	10
	①クラスメイトのキャリアタグとロールモデルを知る ②クラスメイトの問いを知る	①『キャリアハッシュタグと未来の自分のロールモデル』を紹介しあう ②『自分の問いについて紹介してみる』	他者の発表を聞き、自分自身の伝え方や発表スライドについて、長所と短所を考える。	○	○	○	4
							合計
							46

年間授業計画

高等学校 令和 8 年度(2 学年用) 教科

総合的な探究の時間	科目	総合的な探究 の時間
-----------	-----------	------------

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（2 学年担任）

使用教科書：（なし）

使用教材：（インスパイア・ハイ
【知識・技能】欄

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現し

科目 総合的な探究 の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	自らの問いを立てる準備をすること。	インスパイア・ハイのセッションで多様なトピックの話を聞き、自分の興味関心のあることを掘り下げたり、視野を広げたりする。	聞いた内容について生徒同士で話し合い、考えを深めようとしている。また、感想文などで自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	8
	自らの問いを立てること。	インスパイア・ハイのプロジェクトを始めるために、自らの問いを立てること。	自分の興味関心や社会課題に関連した問いを立て、インスパイア・ハイのプロジェクトを作成し始めていること。	○	○	○	6
2 学期	自らの問いを深めること。	インスパイア・ハイのプロジェクトで、自らの問いに対して仮説を立て、検証し、まとめること。	プロジェクトが順調に進んでいること。また、内容が十分に深まっていること。	○	○	○	10
	プロジェクトの発表をすること。	完成させたプロジェクトをクラス内で発表すること。	他者に伝わるように発表を工夫していること。発表を聞き、質問したり感想を書いたりすること。	○	○	○	6
3 学期	プロジェクトの発表をすること。	学校全体でプロジェクトを発表すること。	他者に伝わるように発表を工夫していること。発表を聞き、質問したり感想を書いたりすること。	○	○	○	4
	進路決定に向けて、自己理解を深めること。	プロジェクト全体の振り返りを行い、今後の進路活動につなげること。	振り返りの内容について、周囲と共有し、考えを深めること。感想文などで考えをまとめること。	○	○	○	2
							合計 36

高等学校 令和 8 年度 (3 学年用) 教科
総合的な探究の時間
科目
総合的な探究 の時間

教 科 : 総合的な探究の時間
 科 目 : 総合的な探究 の時間
 単位数 : 1 単位

対象学年組 : 第 3 学年
 1 組 ~ 8 組

科目：総合的な探究の時間

单位数： 1 单位

1 組 ~ 8 組

【思考力、判断力、表現力等】自らの興味・関心や職業観に基づき、情報を集め、整理・分析して、進路活動に活かすことができるように

総合的な探究の時間 の目標:

の目標：

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	小論文： 自己の体験や経験を他者に伝わる ように文章で表現する	与えられたテーマについての作文 を制限時間の中で行う	制限時間内で設定した時数で作文が書けてい る より読み手の興味を引くような書き方が出来 ている	○	○	○	4
	模擬試験： 模擬試験を通して実力診断を行う	大学・短大・専門学校・看護医療 系、各分野ごとに模擬試験を行 う。	現時点での実力を発揮できている	○	○	○	4
	分野別進路探求 分野ごとに進路についての幅広い 知識を得る	進路分野に分かれて分野ごとの進 路探求を図る 必要に応じて教員との面談を行 い、進路理解を深めていく	自分の進路について情報を集め、比較検討 し、自分の将来像について考えることができ ている	○	○	○	8
2 学 期	分野別進路探求 分野ごとに進路についての幅広い 知識を得る	進路分野に分かれて分野ごとの進 路探求を図る 必要に応じて教員との面談を行 い、進路理解を深めていく	自分の進路について情報を集め、比較検討 し、進路対策ができる	○	○	○	12
	模擬面接： 自分の進路に合わせて模擬面接を 行う	個別指導により、指定校推薦・総 合型・学校推薦型・就職活動に対 応できる力を養う	面接の流れや作法について理解し、自分につ いてアピールできている	○	○	○	4
3 学 期	個別指導： 個々の進路に合わせて進路指導を 行う	個別指導により、一般入試に対応 できる力を養う	自分の進路について情報を集め、比較検討 し、進路対策ができる	○	○	○	14
							合計
							46